

『XML マスター』の取得者、2004年4月末で8,000名を突破

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男 慶應義塾大学常任理事兼 W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、2001年10月1日から開始した XML 技術者認定制度『XML マスター』の取得者が、2004年4月30日時点で8,000名を突破したことを発表しました。

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。XML に関連する業務を行うエンジニアに必要な XML 関連知識の習得を認定する「XML マスター：ベーシック」と、XML データを利用したシステム構築を行うエンジニアを対象とした上位認定制度「XML マスター：プロフェッショナル」の2種類があり、このたびの『XML マスター』取得者8,000名にはこの両方が含まれます。

XML 技術者育成推進委員会副会長の平野洋一郎（インフォテリア株式会社代表取締役社長）は、「『XML マスター』取得者増加の背景には、XML が新聞、金融、印刷、出版、e コマースをはじめとする様々な業界で急速に普及してきたこと、『e-Japan 構想』に代表される官公庁 XML プロジェクトや BtoB（企業間電子商取引）システム案件や Web サービス案件の増加、主要なデータベースや開発ツールなどが XML をサポートしてきたことなどが挙げられ、IT エンジニアにとって XML 技術知識の習得が必要不可欠となってきたといえます。さらに、XML はグリッド・コンピューティングや、ユビキタス・コンピューティングなどの基礎技術としてさらに適用領域が広がりつつあります。『XML マスター』をベースに XML の基礎技術とスキルを正しく身につけることで、多くの技術者がさまざまな XML の適用領域で活躍して欲しいと願っています。」と述べました。

XML 技術者育成推進委員会では、今後も XML 技術者の育成を推進するとともに、2004年12月までには『XML マスター』の取得者が1万人を超えると予測しています。

#

XML マスターについて

「XML マスター」は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。「XML マスター」の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技

術者の不足という問題の解決を促進します。 <http://www.xmlmaster.org/>

お問い合わせ先

XML 技術者育成推進委員会事務局（インフォテリア内）

office@xmlmaster.org （電子メール）

<http://www.xmlmaster.org/> （ウェブサイト）

大橋 （広報担当）